



取扱説明書・施工説明書

このたびは、日本アンテナ製品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。工事の際には施工説明書に従って施工をおこなってください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。また、正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「安全上のご注意」をごらんください。

取扱説明書

取扱上のご注意

取付工事は、専門の施工業者にご依頼ください。

メンテナンス

いつでも美しいテレビ映像をお楽しみいただくために、年に1回は専門業者に保守・点検をご依頼ください。

衛星放送対応 アクティブレベルセッター

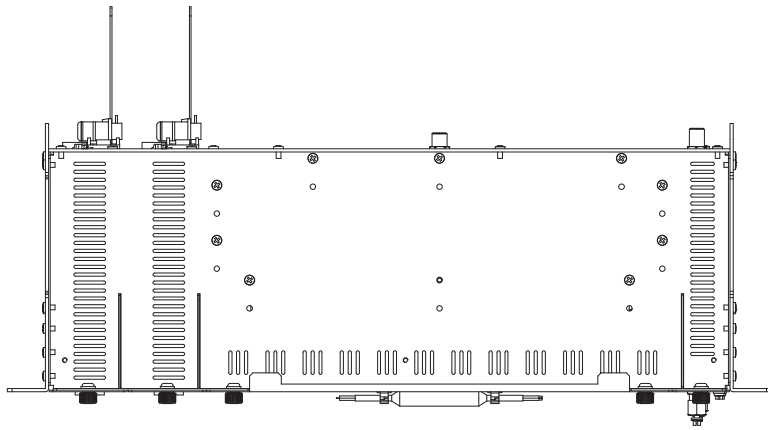
Model ALS-30S-BS ALS-30S-CS

目次

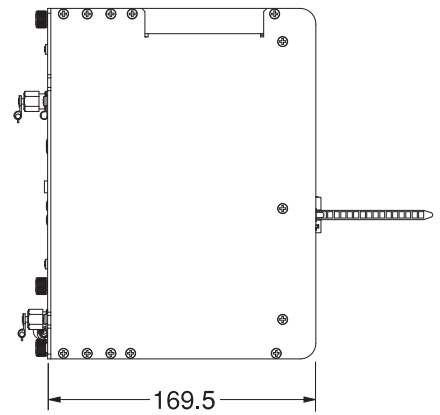
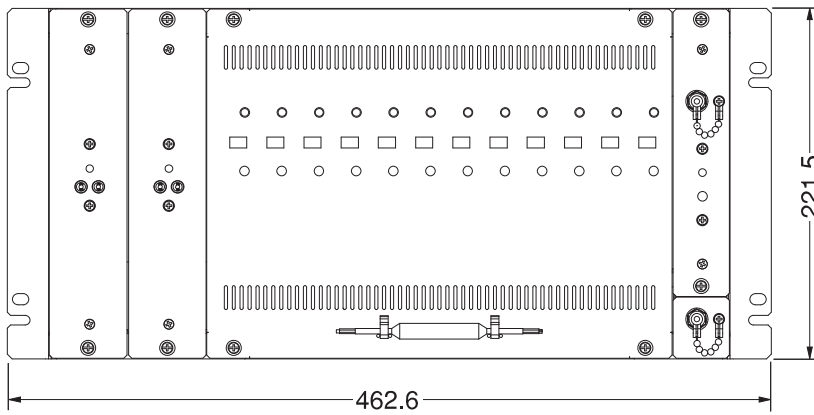
表紙	説明の始まるページ
〔取扱説明書〕	
取扱上のご注意	1
メンテナンス	1
外観および寸法図	2
安全上のご注意	3
廃棄上のご注意	3
特長	4
付属品	4
各部の名称および機能	5
標準性能表	10
ブロックダイヤグラム	12
ユニット着脱方法	13
〔施工説明書〕	
関連法規	15
設置場所・条件	15
同軸ケーブルの加工方法とF型接栓の取付方法	15
電源コードの接続方法	15
機能アース接続	16
アラーム出力端子接続方法	16
信号レベルの確認について	17
システム操作手順	18
接続例	19
衛星デジタル放送と地上デジタル放送の 受信システム例	20
保証書	20

外觀および寸法図

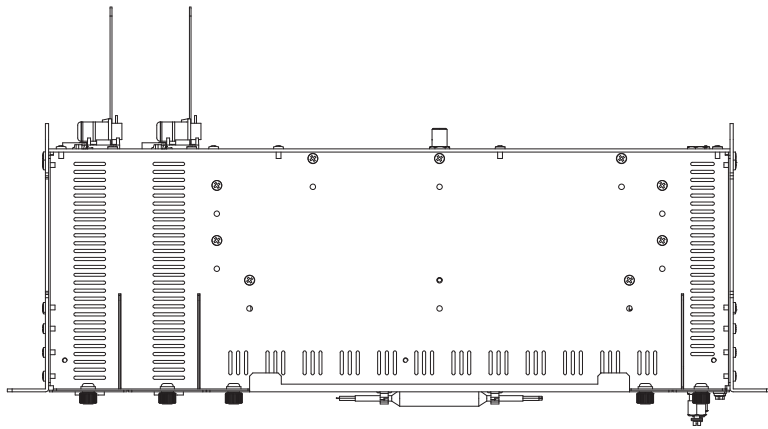
●ALS-30S-BS-PS2



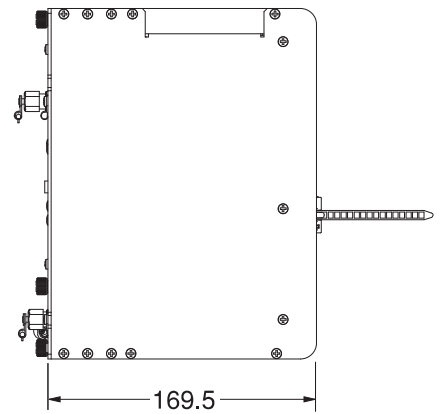
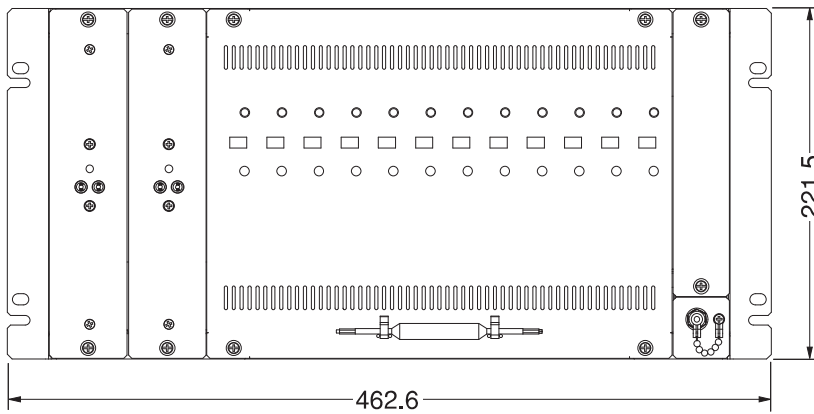
単位：mm
質量：14kg以下



●ALS-30S-CS-PS2








単位：mm
質量：13kg以下











安全上のご注意





絵表示について この「安全上のご注意」、「取扱説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになるかたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。
絵表示の例	
	△記号は注意(注意・警告・危険を含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は警告または注意)が描かれています。
	○記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。)が描かれています。

警告

- 



- 

- 


注意

- 

- 


廃棄上のご注意

本器のすべて、または部品を廃棄する場合には、自治体の定めた条例にしたがって処理してください。

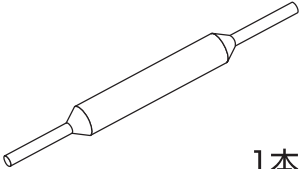
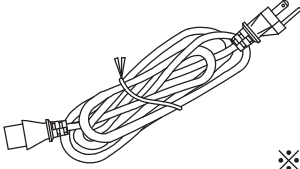
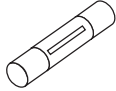

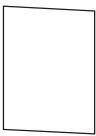
特 長

1. BSデジタル放送波(BS-IF信号)、および110度CSデジタル放送波(110度CS-IF信号)を受信し、チャンネル毎に不要な信号の除去・レベル調整をおこなった後再送信します。
 - ・ALS-30S-BS：BS-IF信号(最大12波)
 - ・ALS-30S-CS：110度CS-IF信号(最大12波)
 2. AGC機能により常に安定した出力レベルでの再送信が可能です。
 3. 内蔵のスケルチ回路によって放送終了後も隣のチャンネルに妨害を与えません。
- ※アンプユニット(ALS-30SA)にて、レベル調整されたBS-IF信号(最大12波)と110度CS-IF信号(最大12波)を混合し、増幅して出力します。(最大100dB μ V、24波)また、CATV混合回路を内蔵しておりますので、76~770MHzのシステムも混合することが可能です。
4. ALS-30S-BSは入力端子から、BS/CSコンバーターにDC15V給電ができます。
 5. 電源ユニットは2台の冗長運用ができますので信頼度の高いシステム構築が可能です。
 6. チャンネルユニット、アンプユニット、電源ユニットは独立した構造になっていますので、メンテナンス時のユニット交換が容易です。
- ALS-30S-CSは単体で使用することはできません。必ず、ALS-30S-BSとセットでご使用ください。
 - チャンネルユニット(LSU-BS□、LSU-CSND□)、アンプユニット(LSU-30SA)、電源ユニット(LSU-30SPS)は別売りもしています。

付 属 品

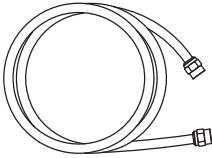



- お取り付けの前に下図の部品が間違いなく入っているか、ご確認ください。

ALS-30S-BS/ALS-30S-CS共通

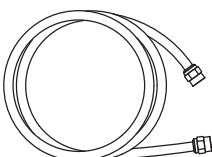
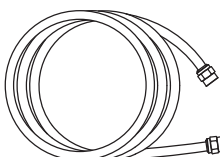
調整棒	ACケーブル	予備ヒューズ	取扱説明書	試験成績書
 1本	 ※	 ※	 1部	 1部

ALS-30S-BSのみ

※は仕様により数が異なります。

同軸ケーブル(30cm)	75 Ω ダミー抵抗	F型メタルキャップ	BS放送のテレビ番組配列表
 1本	 2個	 3個	 1部

ALS-30S-CSのみ

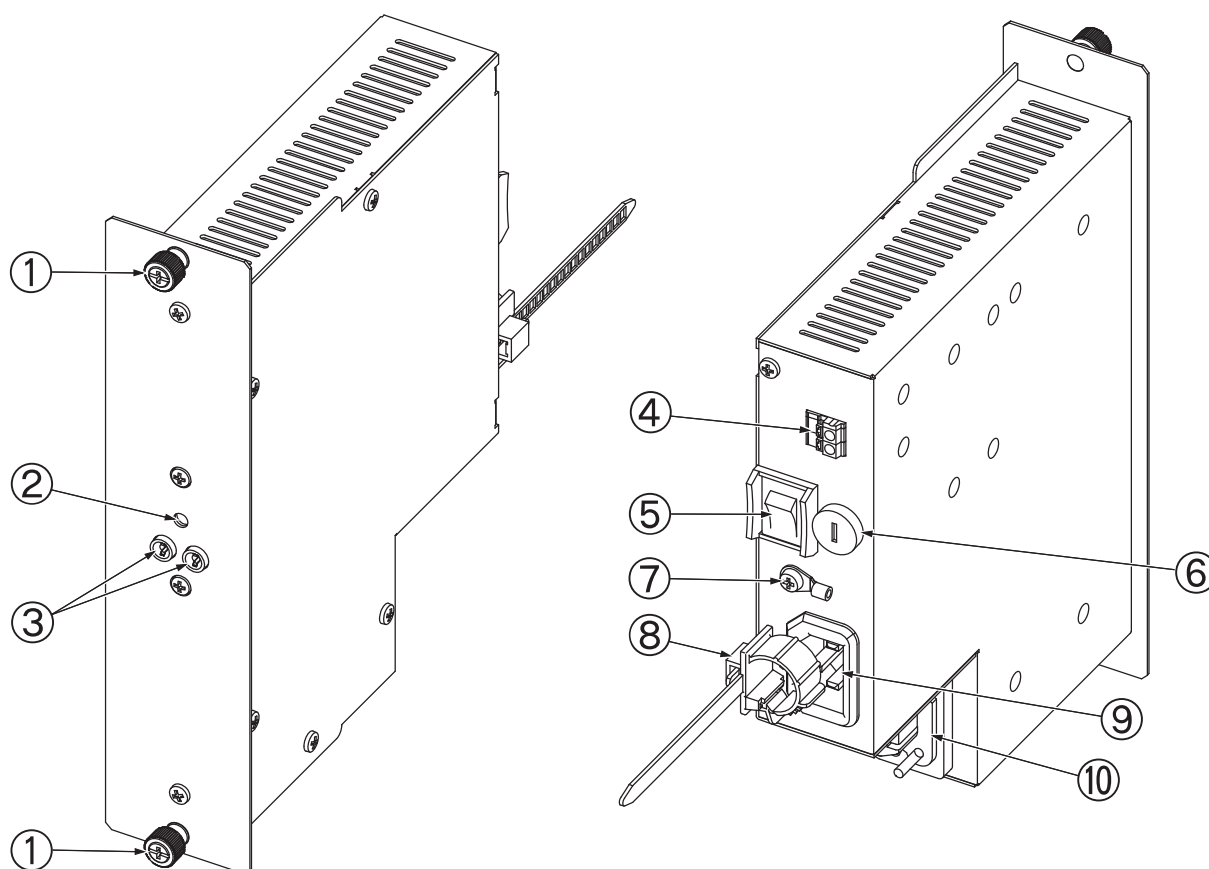
同軸ケーブル(30cm)	同軸ケーブル(150cm)
 1本	 2本

各部の名称および機能

●ALS-30S用電源ユニット：ALS-30SPS

■前面

■背面



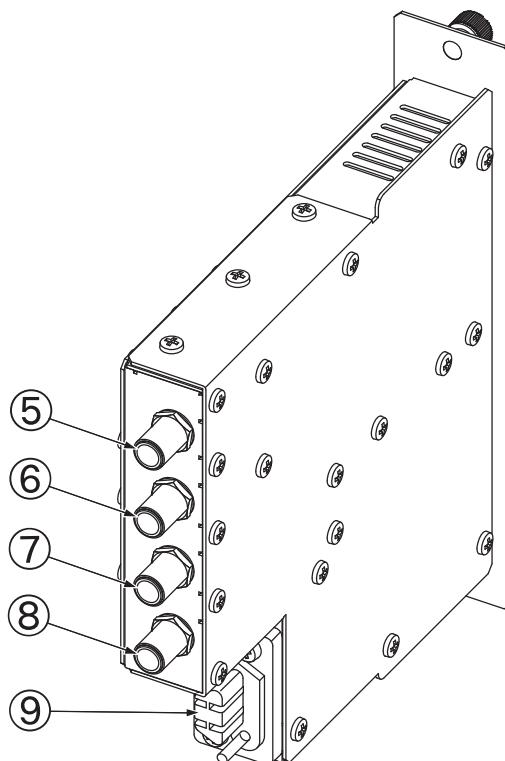
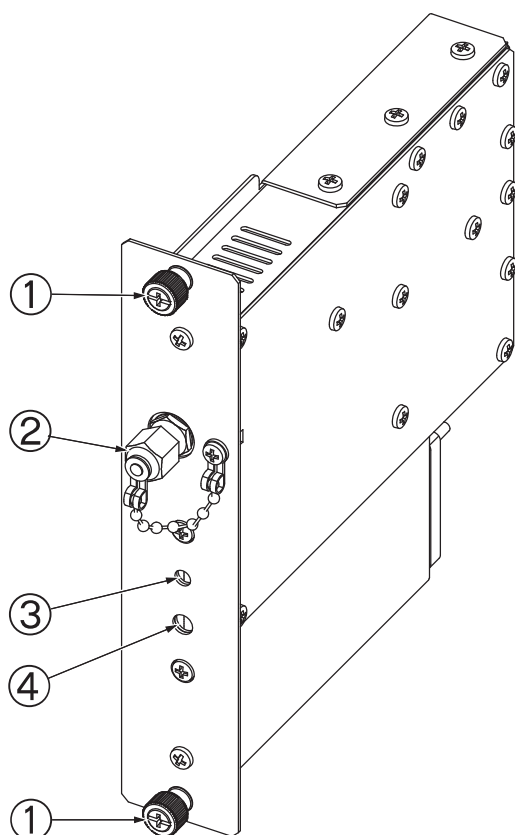
①	ユニット固定ねじ	電源ユニットの固定ねじです。
②	パイロットランプ	正常動作時に緑色に点灯します。
③	T.P DC12V	DC12Vのチェック端子です。
④	アラーム出力端子	電源電圧断時にアラーム信号を出力します。
⑤	電源スイッチ	AC電源の入/切をおこなうスイッチです。
⑥	ヒューズ(5A)	定格5Aのタイムラグヒューズが付いています。
	⚠ 注意 必ず指定されたヒューズをご使用ください。機器故障の原因となります。	
⑦	機能アース端子	アース線はφ1.6~2.0mmの被覆銅線で安全に接地してください。接地が不十分ですと避雷回路が働かず、機器や施設の故障の原因になることがあります。(D種接地工事：接地抵抗100Ω以下)
⑧	電源コード抜け防止機能	AC100Vインレットから電源コードが抜けるのを防止します。
⑨	AC100Vインレット	AC100Vを入力します。指定電圧以外は入力しないでください。
	⚠ 注意 専用の電源コード以外は、ご使用にならないでください。機器故障の原因となります。	
⑩	出力端子	DC12Vの出力端子です。

各部の名称および機能

●ALS-30S用アンプユニット：ALS-30SA

■前面

■背面



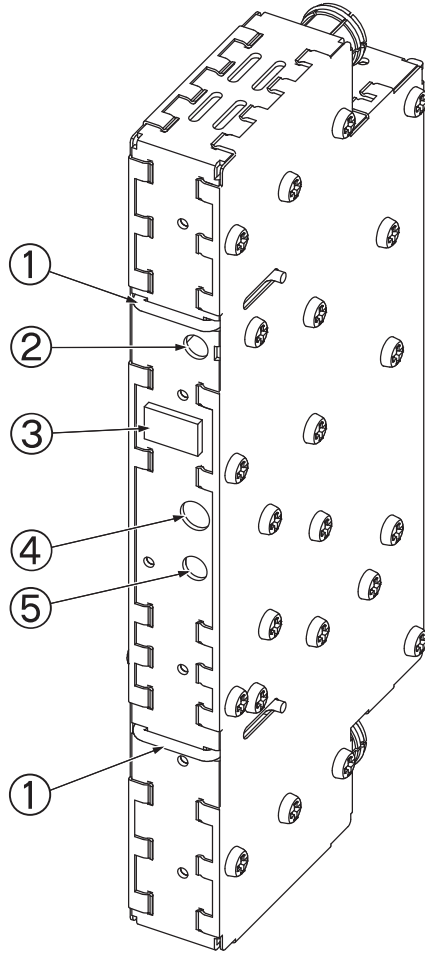
①	ユニット固定ねじ	アンプユニットの固定ねじです。
②	出力モニター端子	RF出力モニター（結合損失-20dB）です。
③	パイロットランプ	正常動作時に緑色に点灯します。
④	利得調整（G.C）ボリューム	RF出力レベルの調整用ボリュームです。 0～-10dBの可変範囲があります。
⑤	RF出力端子	RF出力端子です。BS-IF信号と110°CS-IF信号を最大24波出力します。 最大出力レベルは100dB μ V（75 Ω 終端時）です。
⑥	混合入力端子	アンプユニットの混合入力端子です。 混合損失は76～770MHzで、3.5dB以下です。 使用しない場合は75 Ω ダミー抵抗で終端してください。
⑦	110°CS-IF入力端子	110°CS-IFのアンプユニット入力端子です。ALS-30S-CS混合出力端子 と付属の同軸ケーブル（150cm）で接続してください。 使用しない場合は75 Ω で終端してください。
⑧	BS-IF入力端子	BS-IFのアンプユニット入力端子です。ALS-30-BS混合出力端子と付属 の同軸ケーブル（30cm）で接続してください。
⑨	電源入力端子	DC12Vを入力します。

各部の名称および機能

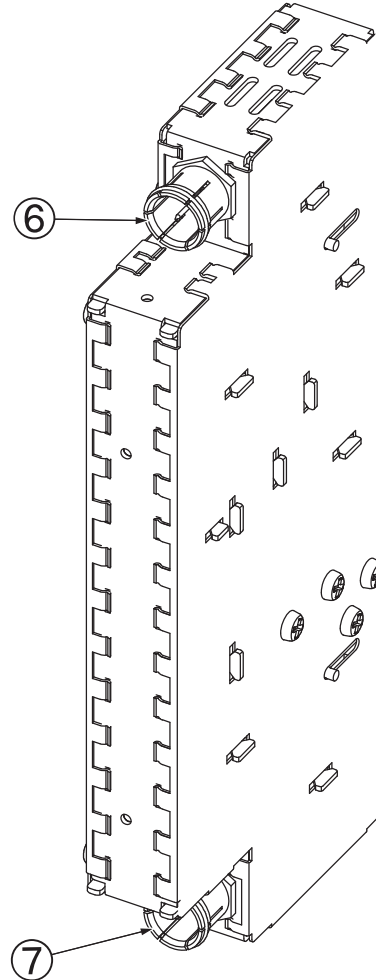
●ALS-30S-BS用チャンネルユニット：LSU-BS□(1,3,5,7,9,11,13,15,17,19,21,23)

●ALS-30S-CS用チャンネルユニット：LSU-CSND□(2,4,6,8,10,12,14,16,18,20,22,24)

■前面



■背面

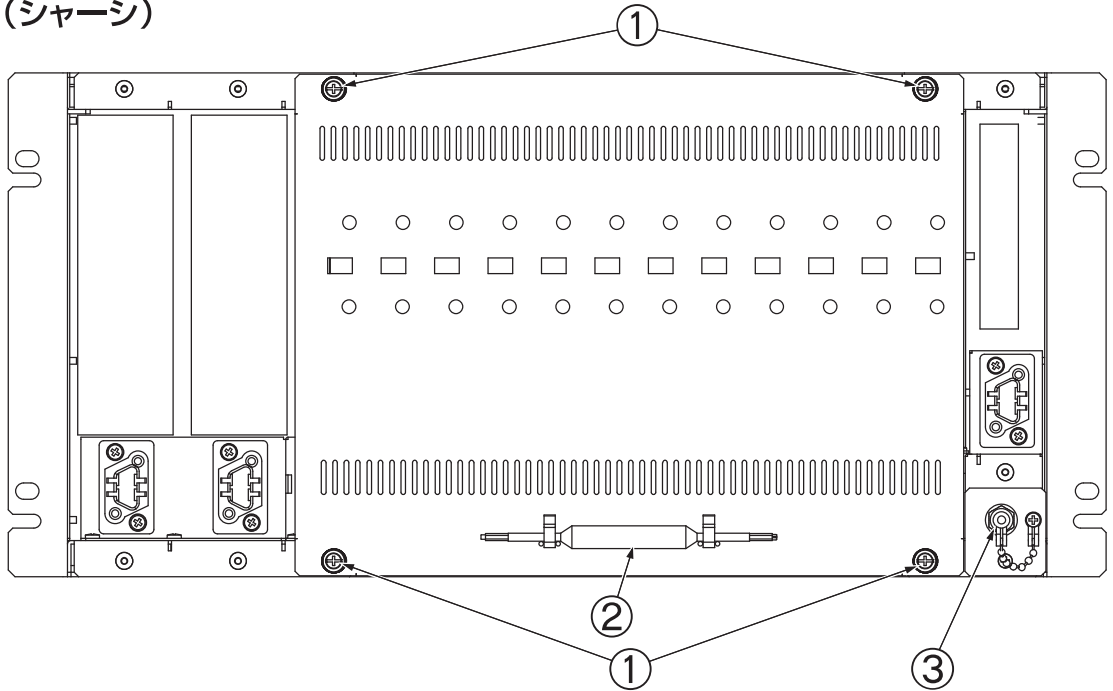


①	取付け金具	可動式の取っ手です。チャンネルユニット取りはずしの際に使用します。
②	利得調整 (G.C) ボリューム	各チャンネルの出力レベルの調整用ボリュームです。 0～10dBの可変範囲があります。
③	チャンネル表示シール	入力・出力チャンネルの表示シールです。
④	パイロットランプおよびスケルチ表示ランプ	チャンネルユニットのパイロットランプ兼、スケルチ表示ランプです。 放送波を受信中は緑に、スケルチ動作中は赤に点灯します。
⑤	スケルチ調整ボリューム	スケルチ調整ボリュームです。 出荷時には50dB μ Vで動作設定してあります。
⑥	出力端子	チャンネルユニットのRF出力端子で、電源入力端子も兼ねています。 (電源電圧dDC12V)
⑦	入力端子	ALS-30S本体からのRF信号入力端子です。

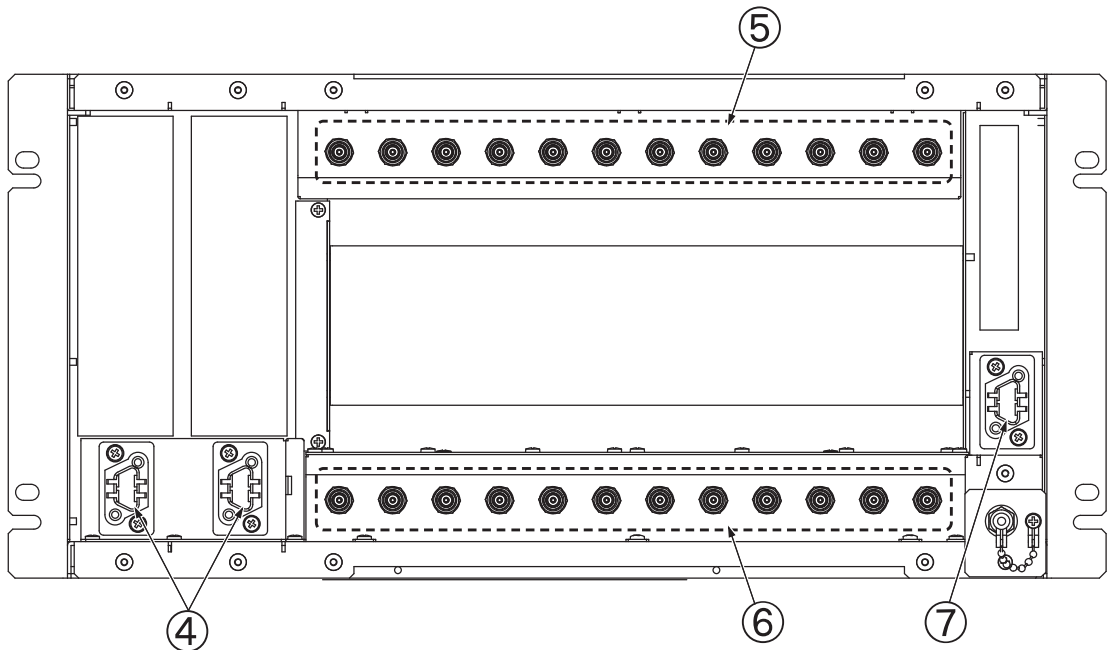
各部の名称および機能

●ALS-30S (シャーシ)

■前面



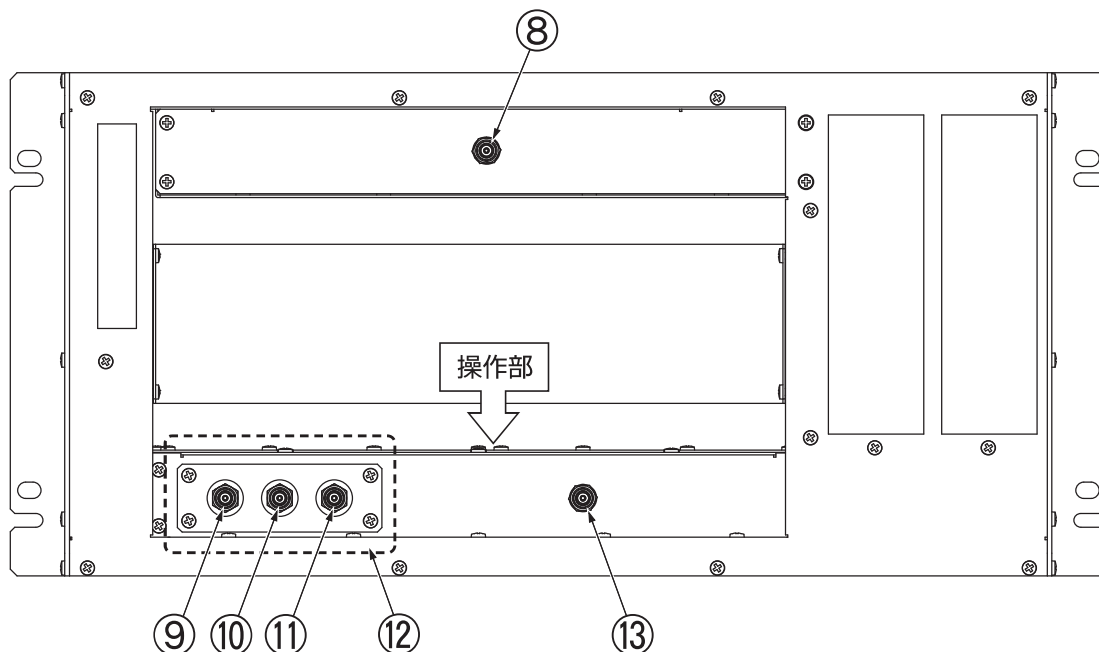
■内面



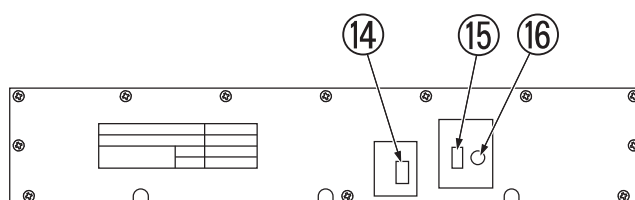
①	固定ねじ	前面パネル固定ねじです。上下計4箇所あります。
②	調整棒	チャンネルユニット、アンプユニットのボリューム調整にご使用ください。
③	入力モニター端子	RF入力モニター(結合損失-10dB)です。
④	電源入力端子	電源ユニットからの電源を入力します。
⑤	混合入力および電源供給端子	チャンネルユニットの出力信号を入力します。また、各チャンネルユニットへの電源供給も兼ねています。(電源電圧 DC12V)
⑥	分配出力端子	本体入力端子からの信号を各チャンネルユニットへ入力します。
⑦	電源供給端子	アンプユニットへ電源を供給します。(電圧 DC12V)

各部の名称および機能

■背面



■操作部



※ ⑨⑩⑪⑫⑮⑯はALS-30S-BSのみ

⑧	本体混合出力端子	アンプユニットへ付属の同軸ケーブルで接続してください。
⑨	2分配器入力端子	ALS-30S-BSとALS-30S-CSを同一のシステム内で使用する場合に使用します。
⑩	2分配器110°CS-IF出力端子	ALS-30S-CSの本体入力端子に付属の同軸ケーブル(150cm)で接続してください。
⑪	2分配器BS-IF出力端子(電通)	ALS-30S-BSの本体入力端子に付属の同軸ケーブル(30cm)で接続してください。2分配入力端子へ電流通過します。
⑫	2分配器	BS・CSコンバーターからの入力信号を分配します。ALS-30S-BSとALS-30S-CSをセットでご使用になる時に、BS-IF信号と110°CS-IF信号をそれぞれの本体入力端子に分配します。
⚠	注意	2分配器は片電通です。本体入力端子との接続は、必ず指定された端子と接続してください。機器故障の原因となります。
⑬	本体入力端子	本体入力端子です。
⑭	入力レベル調整(ATT)スイッチ	入力ATTスイッチです。スイッチ上側がオフ、中央で10dB下げ、下側で15dB下げます。
⑮	BS・CSコンバーター用電源供給スイッチ	BS・CSコンバーターへDC15V(6W)を供給できます。
⑯	パイロットランプおよびBS・CSコンバーター用電源供給ランプ	電源を入れると緑色に点灯します。BS・CSコンバーター用電源供給スイッチをONにするとランプが赤色に点灯します。送電時に異常(ショートや容量オーバー)があるときはランプは点灯しません。

標準性能表

●ALS-30S-BS

項 目	性 能		備 考
受信チャンネル	BS-IF指定のチャンネル		最大12波
送信チャンネル	受信チャンネルと同じ		
入力・出力インピーダンス (Ω)	75		F型(C15型)
入力レベル範囲 (dBμV)	55～75		※1
最大出力レベル (dBμV)	100		※2
最大利得 (dB)	45以上		※2
入力・出力VSWR	2.5以下		
入力レベル調整[ATT] (dB)	-10、-15		スイッチ切換
出力レベル調整範囲 (dB)	アンプユニット	0～-10以上	連続可変
	チャンネルユニット		
帯域内偏差 (dBp-p)	4.0以内		
スプリアス妨害比 (dB)	40以下		1000～2602MHz
AGC特性 (dB)	±1.5以内		65dBμV±10dBに対して ※2
出力レベル安定度 (dB)	±2.0以内		0～+40℃
スケルチ	入力信号がない時に動作		
入力モニター結合量 (dB)	-10±2.0以内		
出力モニター結合量 (dB)	-20±2.0以内		
外部混合入力損失 (dB)	3.5以下		76～770MHz
ア ラ ーム 出 力	接続形式	フォトカプラー絶縁NPNオープンコレクター(DC30V 10mA MAX) ノーマルクローズ(N.C.)	
	動作条件	電源電圧断	
	使用可能電線範囲	単線：φ0.4mm(AWG26)～φ1.2mm(AWG16) より線：0.2mm ² (AWG24)～φ1.25mm ² (AWG16)	
雑音指数 (dB)	16以下		最大利得時
不要放射 (dBμV/m)	34以下		3m法による
耐雷性 (kV)	入力・出力、電源端子とも±15(1.2×50μs)のサージ電圧に耐える		
直流給電電圧 (V)	DC15(±10%) 6W		入力端子
電 源 (ACV)	100		50/60Hz
消費電力 (W)	1電源時	38(送電時 45)	12波時
	2電源時	42(送電時 49)	
使用温度範囲 (℃)	0～+40		本体周囲温度

※1 2分配器の分配損失は含みません。

※2 本体混合出力端子をアンプユニットのBS-IF入力端子に、付属の同軸ケーブルを接続したときの特性。

標準性能表

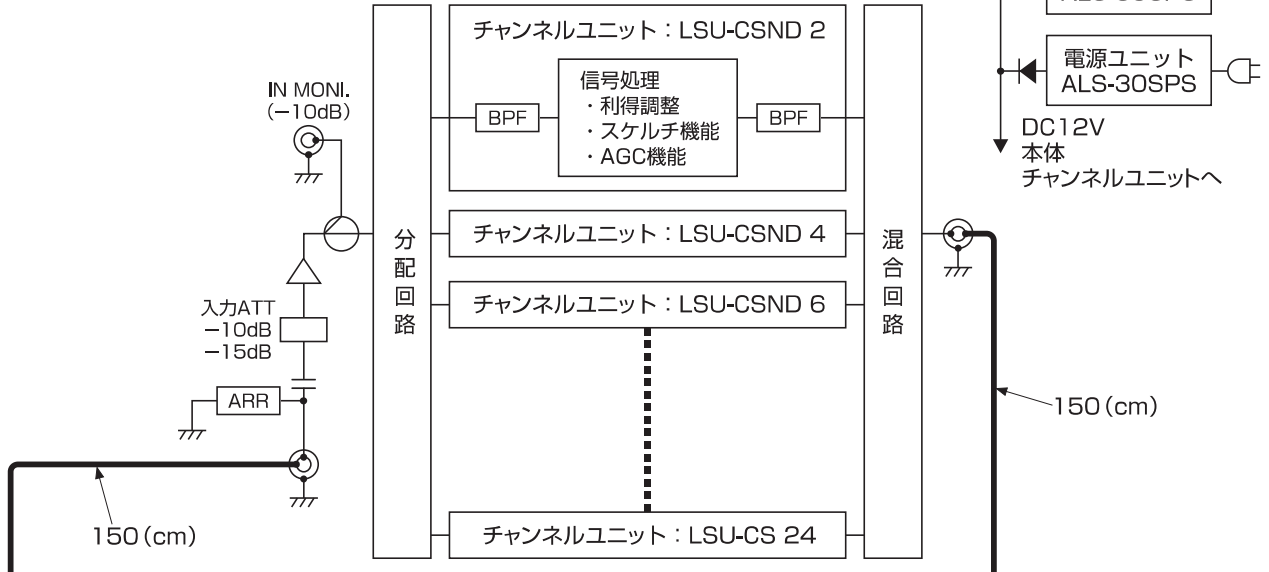
●ALS-30S-CS

項 目	性 能		備 考
受信チャンネル	110°CS-IF指定のチャンネル		最大12波
送信チャンネル	受信チャンネルと同じ		
入力・出力インピーダンス (Ω)	75		F型(C15型)
入力レベル範囲 (dBμV)	55~75		
最大出力レベル (dBμV)	100		※1
最大利得 (dB)	45以上		※1
入力・出力VSWR	2.5以下		
入力レベル調整[ATT] (dB)	-10、-15		スイッチ切換
出力レベル調整範囲 (dB)	アンプユニット	0~-10以上	連続可変
	チャンネルユニット		
帯域内偏差 (dBp-p)	4.0以内		
スプリアス妨害比 (dB)	40以下		1000~2602MHz
AGC特性 (dB)	±1.5以内		65dBμV±10dBiに対して ※1
出力レベル安定度 (dB)	±2.0以内		0~+40℃
スケルチ	入力信号がない時に動作		
入力モニター結合量 (dB)	-10±2.0以内		
出力モニター結合量 (dB)	-20±2.0以内		※1
ア ラ ーム 出 力	接続形式	フォトカプラー絶縁NPNオープンコレクター(DC30V 10mA MAX) ノーマルクローズ (N.C.)	
	動作条件	電源電圧断	
	使用可能電線範囲	単線：φ0.4mm (AWG26)~φ1.2mm (AWG16) より線：0.2mm ² (AWG24)~φ1.25mm ² (AWG16)	
雑音指数 (dB)	16以下		最大利得時
不要放射 (dBμV/m)	34以下		3m法による
耐雷性 (kV)	入力・出力、電源端子とも±15(1.2×50μs)のサージ電圧に耐える		
電 源 (ACV)	100		50/60Hz
消費電力 (W)	1電源時	38	12波時
	2電源時	42	
使用温度範囲 (℃)	0~+40		本体周囲温度

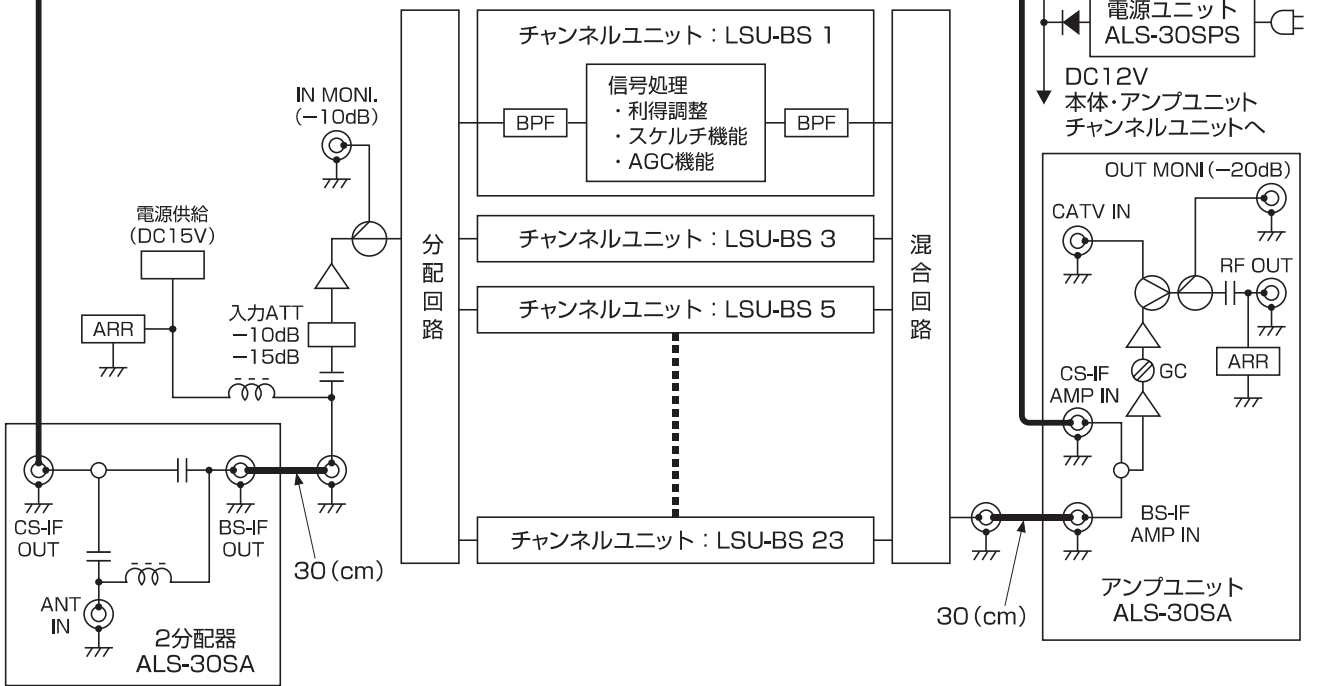
※1 本体混合出力端子をアンプユニットのBS-IF入力端子に、付属の同軸ケーブルを接続したときの特性。

ブロックダイアグラム

110°CS-IFアクティブレベルセッター ALS-30S-CS



BS-IFアクティブレベルセッター ALS-30S-BS



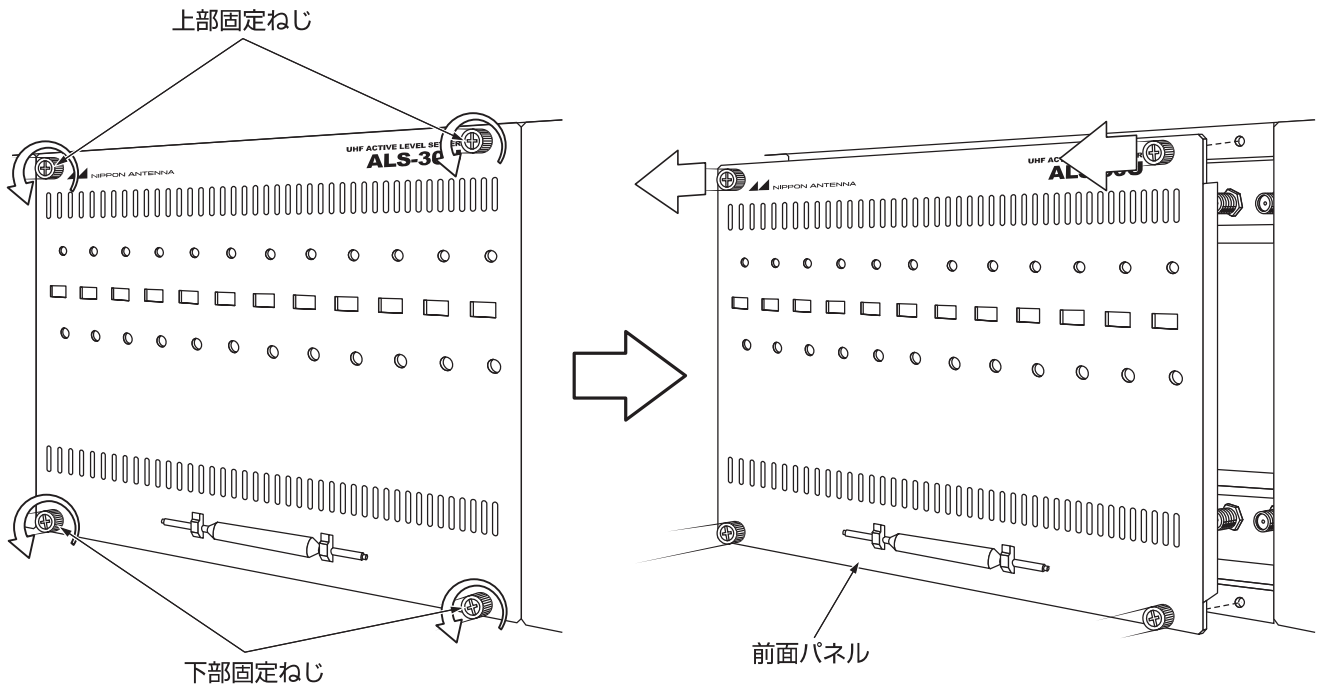
— 同軸ケーブル

ユニット着脱方法

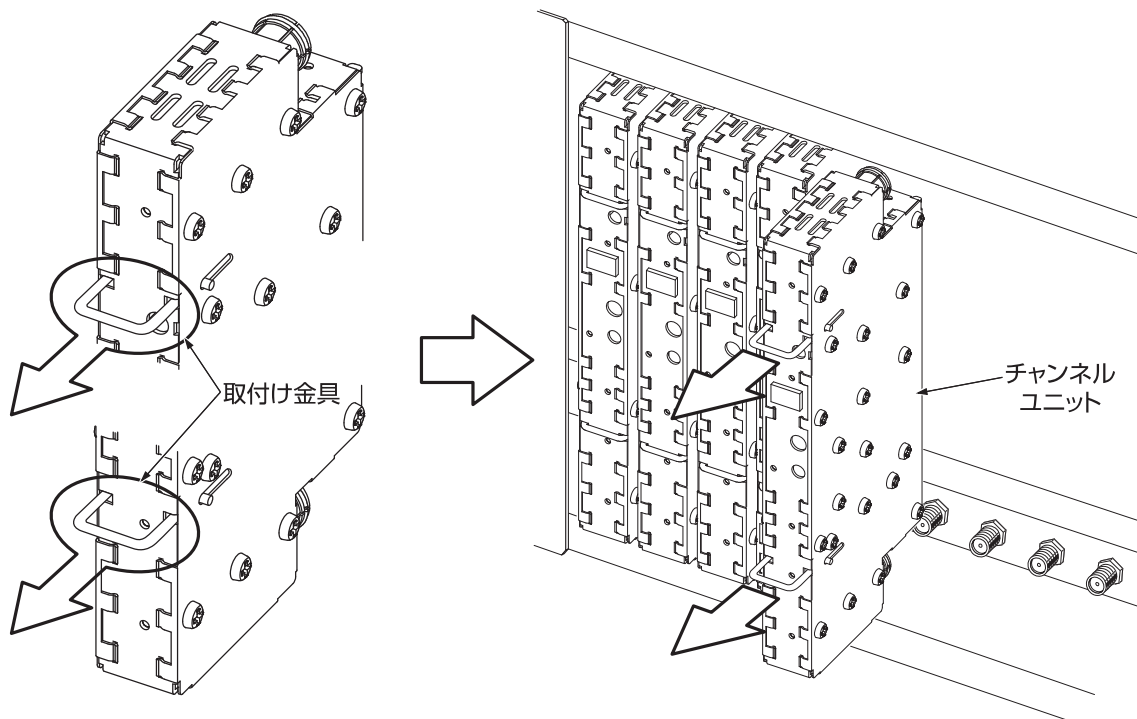
●チャンネルユニットLSU-BS□、LSU-CSND□の取外し方法

1. 前面パネルの下部固定ねじを反時計回りに回して固定ねじをはずします。
2. 前面パネルの上部固定ねじを反時計回りに回して固定ねじをはずし、上部固定ねじを持ったまま前面パネルをまっすぐ引き抜きます。

※作業時は前面パネルの落下にご注意ください。



3. チャンネルユニットの上下2箇所の取付け金具を前方にスライドさせます。
4. 取付け金具を持って、チャンネルユニットを本体からまっすぐに引き抜きます。



ユニット着脱方法

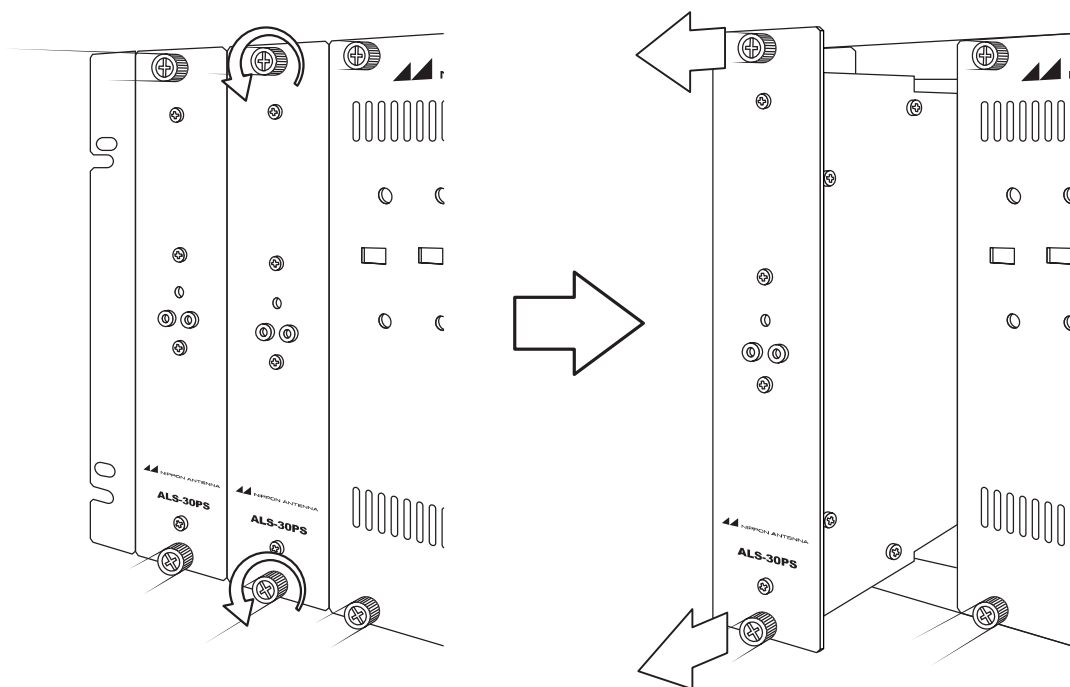
●チャンネルユニットLSU-BS□、LSU-CSND□の取付方法

1. チャンネルユニットと本体内部の入力・出力端子の位置がずれないように注意して、まっすぐ押し込んでください。
2. チャンネルユニットの取付け金具が奥までしっかり入っていることをご確認ください。
3. チャンネルユニットの取付けが終わったら、前面パネルを取付けてください。

※実装チャンネルユニット数によりALS-30S (シャーシ) 内部に空端子が生じる場合は75Ωダミー抵抗(電流阻止型)で終端してください。

●アンプユニットALS-30SA、電源ユニットALS-30SPSの取外し方法

1. ユニットの固定ねじを反時計回りに回して、固定ねじをはずします。
2. 固定ねじを持ってユニットをまっすぐ引き抜きます。



●アンプユニットALS-30SA、電源ユニットALS-30SPSの取付方法

1. ユニットの固定ねじを時計回りに回して、ALS-30S (シャーシ) に固定します。
2. ユニットの固定ねじを時計回りに回して、ALS-30S (シャーシ) に固定します。



注意

電源ユニットの取りはずし・取付けは、必ず電源を切ってからおこなってください。感電や故障の原因となります。



注意

固定ねじは必ず手で回して、最後まで締付けるようにしてください。ドライバーなどで無理に回したり、締めすぎると破損する恐れがあります。

施工説明書

関連法規

この製品は電波法などが適用されます。

設置場所・条件

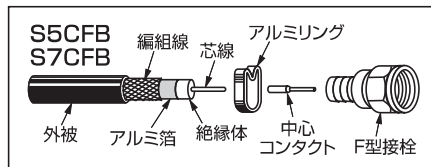
- 高温の場所、直射日光にあたる場所、有毒ガスなどの発生する場所は避けてください。
- 電機配線、配線工作物の近くや、強い電磁場を受ける場所を避けてください。
- メンテナンスに容易な場所を選定してください。

同軸ケーブルの加工方法とF型接栓の取付方法（別売品）

◆用意するもの

カッターまたはナイフ、ハサミまたはニッパー、ペンチ、圧着工具。

■各部の名称

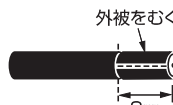


ポイント

- 絶縁体をカットするときは芯線をキズつけないように注意し、芯線が編組線とアルミ箔に接触していないかをご確認ください。
- 芯線に付着物がないか確認し、付着物がある場合には、きれいにしてください。
- 同軸ケーブルを取換える場合は、以前使用していた同軸ケーブルと芯線の外径が同じ同軸ケーブルをご使用ください。

● F型接栓締付トルク 2.0N・m (約20kgf・cm)

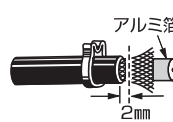
- ① カッター、ナイフなどで点線の部分で点線の部分をカットします。(深さ1mm程度)



- ② 外被をむき、アルミリングを通しておきます。



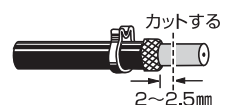
- ③ 外被から2mm程度はなして編組線をていねいに切り落としてください。



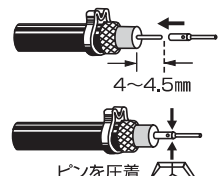
- ④ 編組線をめくり返します。



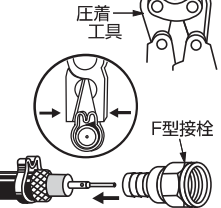
- ⑤ 編組線から2mmはなしてアルミ箔、絶縁体を切り、抜きとります。



- ⑥ 芯線を4～4.5mmにカットし、中心コンタクトを芯線に根元まで挿入してペンチ、圧着工具などで中心コンタクトが抜けないようカシめます。



- ⑦ F型接栓をアルミ箔と編組線の間に挿入し、アルミリングをペンチなどでつまんでしっかりつづしてください。



⚠ 注意 加工の際、切りくずの扱いや工具の使用には十分注意してください。思わぬケガの原因になります。

電源コードの接続方法

外部からの電源コードの接続は、以下の手順でおこなってください。

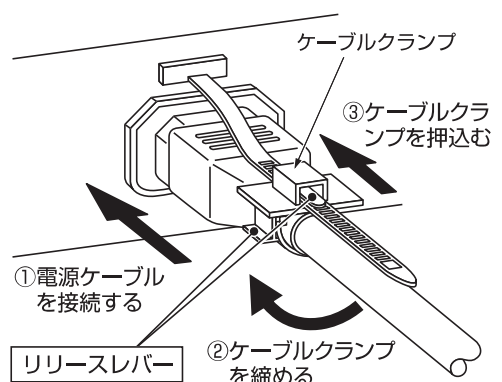
- ① 電源端子は、本体の背面にあります。(各部の名称および機能をご参照ください。)
- ② 電源コードを19インチラック内へ引き込み、接続してください。
- ③ 下図を参照し、電源コードの抜け止め処理をおこなってください。

⚠ 注意 アース接続は必ずおこなってください。接地が不十分ですと避雷回路が働かず、機器や施設の故障などの原因になります。(接地抵抗 100Ω以下：D種接地工事)

⚠ 注意 本器には同梱された電源コードセットを使用してください。また、同梱された電源コードセットは、他の製品に使用しないでください。火災・感電の原因になります。

ポイント

電源コードは、AC100Vインレットにしっかりと押し込み、容易に抜けないことを確認した後に、抜け防止処置をおこなってください。押し込みが不十分なまま抜け防止処置をおこなうと、電源コード抜けの原因となります。

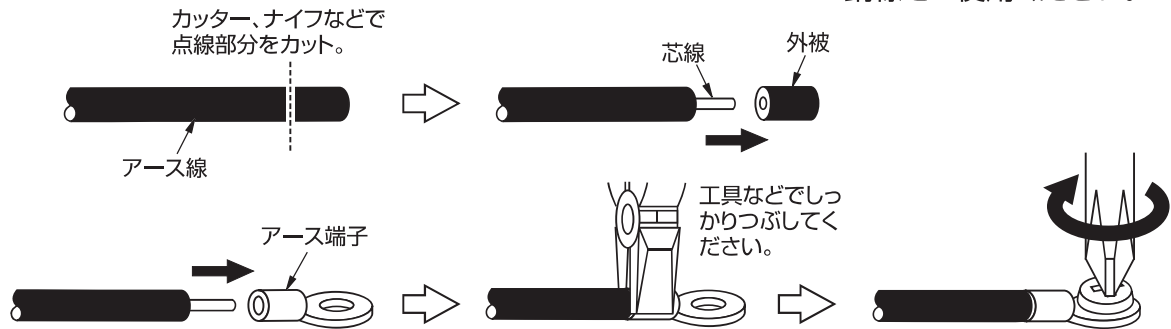


機能アース接続

- ①アース線先端の外被をはがしてください。
- ②アース端子にアース線を通して、圧着工具でかしめてください。
- ③アース端子をシャーシにねじ止めしてください。

ポイント

アース線はφ1.6～2.0mmの銅線をご使用ください。



注意

アース接続は必ずおこなってください。接地が不十分ですと避雷回路が働かず、機器や施設の故障などの原因になることがあります。
(接地抵抗 100Ω以下：D種接地工事)



注意

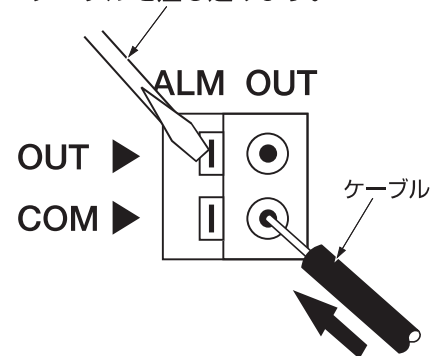
電源プラグは保護接地付きの3ピンです。電源コードで接地する場合はアース端子付きACコンセントに接続してください。

アラーム出力端子接続方法

本器は電源ユニットから電源電圧断時にアラーム信号を出力することができます。正常時にショート、異常時にオープンとなります。

- ①使用するケーブルが以下の範囲のものをご確認ください。
単線：φ0.4mm (AWG26)～φ1.2mm (AWG16)
より線：0.2mm² (AWG24)～1.25mm² (AWG16)
- ②本器の電源が切れていることをご確認ください。
- ③電源ユニット背面にあるアラーム信号出力端子の上部をマイナスドライバーで押しながらケーブルを差し込んでください。
(推奨マイナスドライバー：軸径φ3、刃先幅2.6mm)
- ④ケーブルを監視装置のアラーム信号入力部と接続してください。
- ⑤本体の電源を入れて、接続完了です。

マイナスドライバーで押しながらケーブルを差し込みます。



注意

ケーブルの抜き差しは必ず電源を切った状態でおこなってください。機器故障や感電の原因になります。

信号レベルの確認について

衛星デジタル放送の信号レベルは、衛星デジタル対応レベルチェッカーまたは、チャンネルパワー測定機能のあるスペクトラムアナライザでご確認ください。チャンネルパワーなどの機能のないスペクトラムアナライザで測定する場合は、以下の方法でおこなってください。

●スペクトラムアナライザでの衛星デジタル放送の信号レベル測定方法

以下のようにスペクトラムアナライザを設定してください。最大値に補正値を加えた値が出力レベルになります。

SPAN（表示周波数帯域幅）	50MHz
中心周波数	各チャンネルの中心周波数
RBW（分解能帯域幅）	1MHz
VBW（映像フィルター）	300Hz
検波モード	Sample
波形平均	30回
BS・110°CSデジタルの補正値	16.3dB

※レベルチェッカーおよびスペクトラムアナライザの機能や操作方法については、ご使用の測定機器の製造メーカーにお問い合わせください。

※補正値はスペクトルアナライザの機種により、若干変わる場合があります。

システム操作手順

●調整に入る前に必ず下記項目をご確認ください。

1. 各ユニットが正しく実装されていることを確認します。
2. 電源ユニットのスイッチ、本体の電源供給スイッチが共にオフになっていることを確認します。
3. 電源ユニットALS-30SPSの機能アース端子を使って、必ず接地をおこなってください。
(D種接地工事、接地抵抗100Ω)

●ALS-30S本体RF系、およびチャンネルユニットの操作

1. 電源を入れると電源ユニット、アンプユニット、本体の電源供給ランプが緑色に点灯し、チャンネルユニットのパイロットランプ兼スケルチランプが赤く点灯します。
2. 本体入力端子に、受信した放送波(BS・110°CS-IF信号)を入力するとチャンネルユニットのパイロットランプ兼スケルチランプが緑に変わり再送信を開始します。標準入力レベルは65dB μ Vです。衛星放送受信アンテナにDC15Vを送電する場合は電源供給スイッチをONにしてください。電源供給ランプが赤く点灯し、給電がおこなわれます。



注意

電源供給スイッチは、必要なとき意外は必ずOFFにしてください。
他の機器の故障の原因になります。



注意

電源供給スイッチがONのときに電源給電ランプが点灯していない場合は、送電側の過負荷(ショートや容量オーバー:最大6W)に原因があると考えられます。すぐに電源供給スイッチをOFFにして、異常個所の点検・修理をおこなってください。

3. 入力レベルの確認は入力モニター端子(-10dB)にておこなえます。入力レベルが高い場合はアッテネーターなどを入れて調整してください。

※標準入力レベルは65dB μ V、入力レベル範囲は55~75dB μ Vです。入力レベルの変動に対してAGC機能をフルに発揮するために、入力レベルを標準レベルに合わせてください。

4. アンプユニットのRF出力端子から再送信されますので、各チャンネルユニットまたはアンプユニットの利得調整(G.C)ボリュームにて出力レベルを調整します(それぞれ最大出力に対して0~-10dBの範囲での連続可変)。出力レベルの確認はアンプユニットの出力モニター端子(-20dB)にておこなえます。



注意

ボリューム調整には必ず付属の調整棒使用し、軽く回る範囲内で回してください。無理に回したり、強く押し付けると機器の故障になります。調整棒は前面パネルに固定してあります。使用後は紛失などしないよう、忘れずに元の位置に取付け

5. 出力モニターを衛星放送対応テレビまたは、チューナーに接続し、設定したチャンネルが正常に受信できることを確認します。



注意

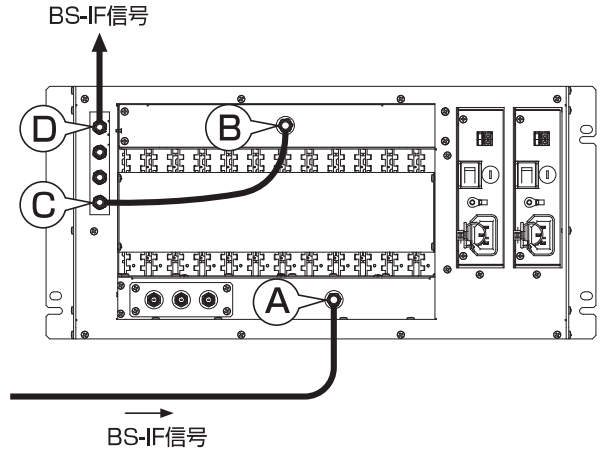
テレビ・チューナーなどの受信機に接続する場合は、受信機の入力レベルにご注意ください。

接続例

●ALS-30S-BS接続例

1. BSコンバーターから①(A)に接続してください。
2. 付属の同軸ケーブル(30cm)で②(B)と③(C)を接続して、接続終了です。④(D)から信号が出力されます。

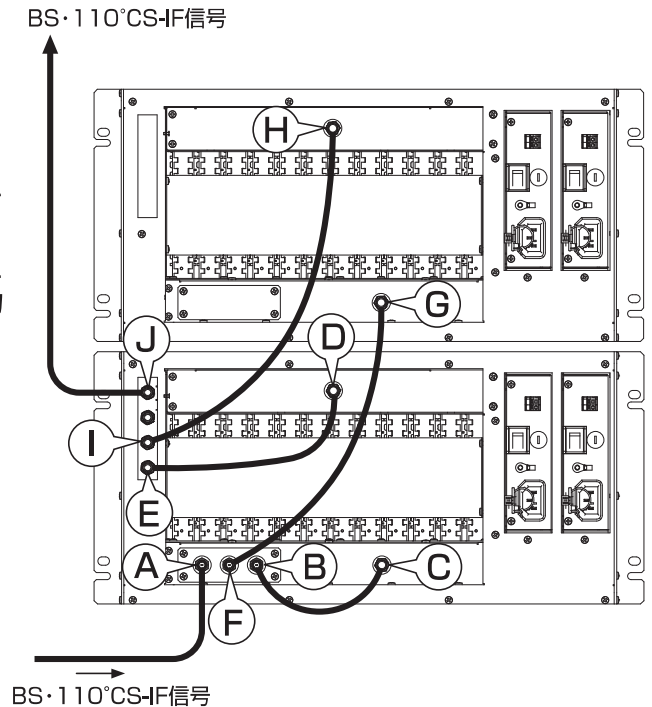
※アンプユニット混合端子を使用しない場合は75Ωで終端してください。



●ALS-30S-BSとALS-30S-CSの接続例

1. BS/CSコンバーターから①(A)に接続してください。
2. 付属の同軸ケーブル(30cm)で②(B)と③(C)、④(D)と⑤(E)を接続してください。
3. 付属の同軸ケーブル(150cm)で⑥(F)と⑦(G)、⑧(H)と⑨(I)を接続して、接続終了です。⑩(J)から信号が出力されます。

※アンプユニット混合端子を使用しない場合は75Ωで終端してください。



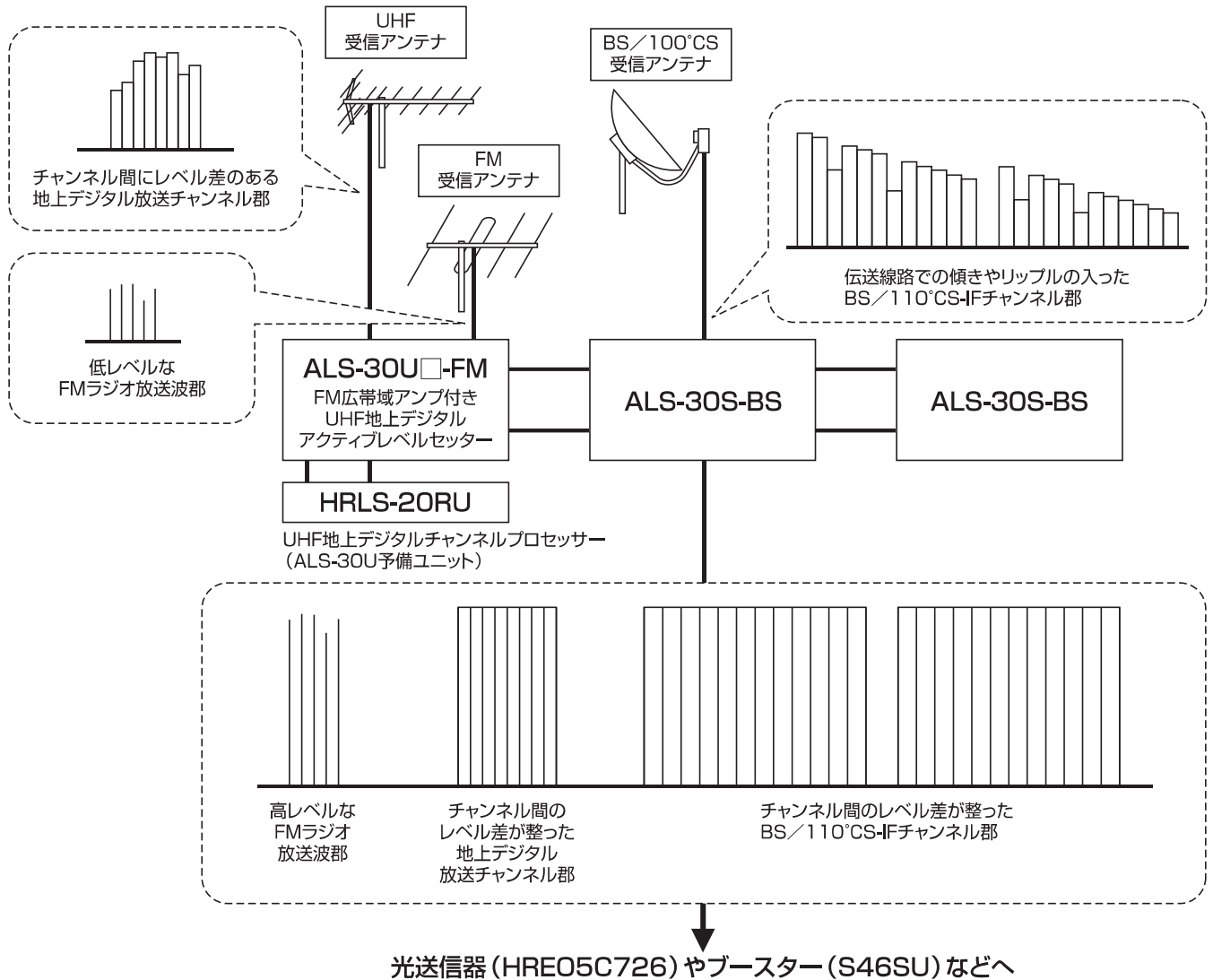
2. 保証期間内でも次の場合には有料修理とさせていただきます。
 - ①使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
 - ②お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷。
 - ③火災、爆発事故、落雷、地震、噴火、水害、津波など天変地異または戦争、暴動等破壊行為による故障および損傷。
 - ④海岸付近、温泉地等の地域における公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)など腐食性の空気環境に起因する故障および損傷。
 - ⑤ねずみ、昆虫などの動物の行為に起因する故障および損傷。
 - ⑥異常電圧、電気の供給トラブルなどに起因する故障および損傷。
 - ⑦用途以外で使用した場合の故障および損傷。
 - ⑧塗装の色あせなどの経年変化または使用に伴う摩擦などにより生じる外観上の現象。
 - ⑨消耗部品の消耗に起因する故障および損傷。
 - ⑩日本国以外で使用された場合の故障および損傷。
 - ⑪本書のご提示がない場合。
 - ⑫本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
3. ご贈答品などで本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合は、最寄りの弊社支店・営業所・出張所にご連絡ください。

4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
(This Warranty is valid only in Japan)
5. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

修理メモ

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または最寄りの弊社支店・営業所・出張所にお問い合わせください。
※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については最寄りの弊社支店・営業所・出張所にお問い合わせください。

衛星デジタル放送と地上デジタル放送の受信システム例



お客様窓口	0570-091039 <small>ご利用時間 9:00~12:00 13:00~17:30 (土・日・祝祭日・弊社休業日を除く)</small>	ナビダイヤルが利用できない場合は ☎(03)3893-5243
-------	--	---------------------------------

情報通信が仕事です。

日本アンテナ株式会社

本社/〒116-8561 東京都荒川区西尾久7-49-8 ☎(03)3893-5221(大代)
 (ホームページアドレス) <http://www.nippon-antenna.co.jp/>

*製品改良のため、仕様、外観の一部を予告なく変更することがあります。
 D863000900 平成23年12月

保証書

型名		製造番号	
お客様	お名前		
	ご住所		
		電話番号 ()	
お買上げ日		取扱販売店名・住所・電話番号	
年 月 日			
保証期間(お買上げ日より) 本体1年 (但し消耗品は除く)			

この保証書は、本書記載内容で無料修理をおこなうことをお約束するものです。なお弊社支店・営業所・出張所は別紙の店所一覧をご覧ください。

〈無料修理規定〉

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
 - ① 無料修理をご依頼される場合は、商品に本書を添えてお買い上げの販売店にお申し付けください。
 - ② 修理対象品を直接当社支店・営業所・出張所まで送付された場合の送料はお客様負担とさせていただきます。また、出張修理をおこなった場合、出張料はお客様負担とさせていただきます。

(裏面に続きます)